

■ 資源の樹「にしわ木」の表現について

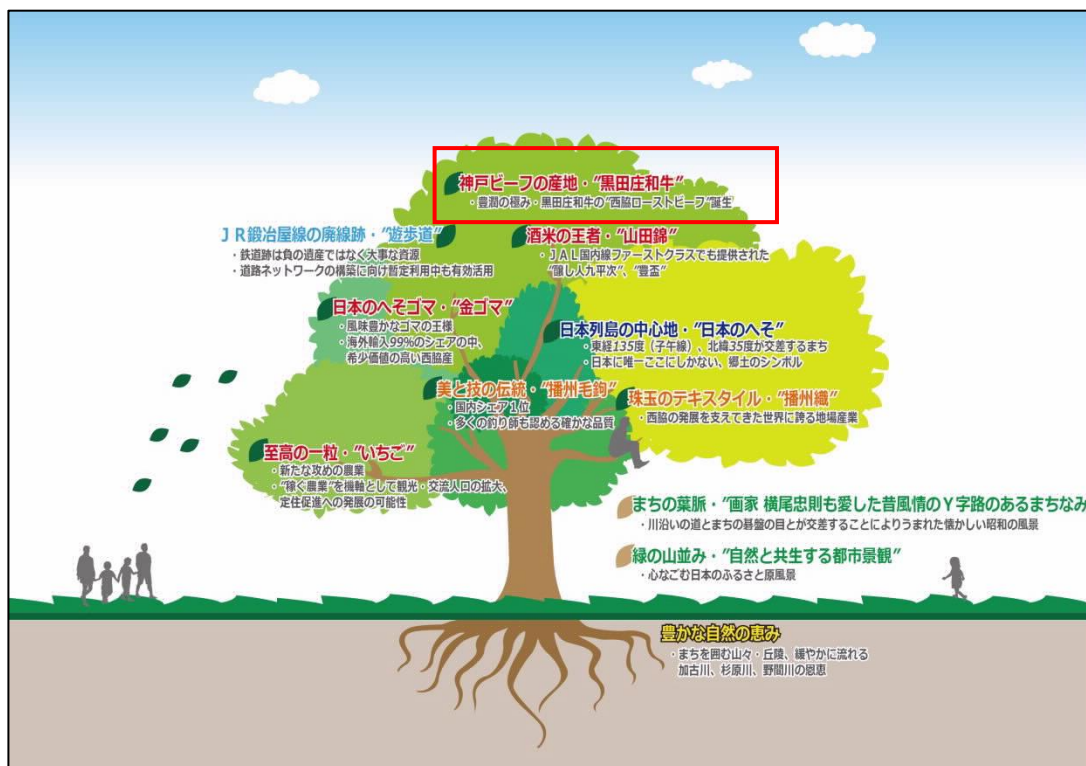
資源の樹「にしわ木」は、当初、西脇市立地適正化計画の検討中で作成していました。このため、平成28年度に第1案を作成し、その後、第3案へと変化しています。平成30年度第2回、第3回都市計画審議会においてご意見をいただいたことから、検討経緯を踏まえた参考資料1を作成しています。第4回審議会当日に再びご意見を伺いたいと思います。

● 第4章 目指すべき都市像

3 将来都市構造

2 都市づくりの基本理念

■ 資源の樹「にしわ木」



## 第1案 希少のブランド牛・“黒田庄和牛” ・めざすは全国ナンバーワンのブランド牛

(1 段目)

- ・“希少”は、全国でトップ3のようなものを指すのではないか。

(2 段目)

- ・農業ビジョンP6に記載があるが、生産者さんの目標をそのまま使用できない。

(農林部局より)

- ・全国有数のブランド牛「神戸ビーフ」の一大産地
- ・黒田庄和牛の約8割が「神戸ビーフ」(当時)
- ・黒田庄和牛を使ったローストビーフが平成28年2月に誕生した旨を入れたい

➡ (1 段目修正案)

- ・全国有数のブランド牛・神戸ビーフの一大産地 “黒田庄和牛”
- ・世界の舌を魅了する神戸ビーフの素牛 “黒田庄和牛”

➡ (2 段目修正案)

- ・新たな名物・“西脇ローストビーフ”による地域ブランド化
- ・至極の一品 “西脇ローストビーフ”
- ・豊潤の極み新ご当地グルメ・黒田庄和牛の “西脇ローストビーフ”
- ・市民とともに開発した新たな特産品・“西脇ローストビーフ”

## 第2案 神戸ビーフの素牛・“黒田庄和牛” ・豊潤の極み・黒田庄和牛の “西脇ローストビーフ” 誕生

(農林部局より (1 段目))

- ・“<sup>もとうし</sup>素牛”は、生後半年で出荷される牛の意味であり、正しくはない。
- ・意味としては全国和牛の種牛が正しい。(種牛を全国各地の牛肉産地へ出荷)
- ・産地であることは間違いない

(農林部局より (2 段目))

- ・OK

**第3案 神戸ビーフの産地・“黒田庄和牛”**  
 ・豊潤の極み・黒田庄和牛の“西脇ローストビーフ”誕生

○ポスターやパンフレットで使用されている表現



(都市計画審議会より (1 段目))

- ・「にしわ木」の1番上にくる表現として、「神戸」が出てくるのはいかがか。
- ・西脇市の資源の樹であり、もっと黒田庄和牛を前面に出してはどうか。
- ・産地＝牛という関係になっており、フレーズとして違和感がある。

**第4案 厳選されたブランド牛・“黒田庄和牛”**  
 ・豊潤の極み・黒田庄和牛の“西脇ローストビーフ”誕生

**【参 考】**

**○黒田庄和牛の定義**

兵庫県産但馬牛の血統を持つ黒毛和種で、黒田庄地域で飼育されたもの。

**○黒田庄和牛と神戸ビーフ**

- ・黒田庄和牛の90%が神戸ビーフとなっている。
- ・神戸ビーフの20%が黒田庄和牛である。

**○兵庫県内ブランド牛のキャッチフレーズ調査 (インターネットより)**

- ・世界の舌を魅了する「神戸ビーフ」
- ・兵庫県の至宝「但馬牛」
- ・明治以来の食通が愛する味「三田牛」
- ・淡路島のブランド牛「淡路ビーフ」
- ・播磨が育てた銘牛「加古川和牛」※その他有 等